

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和6年 3月 10日

事業所名 こどもデイサービス ドリームノア萩原

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|----------------------------------|----|--|----|-----|--|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 5 | 0 | | 利用者人数に対しての広さは基準に満たしているため継続してこのスペースでの支援が行えるよう、定期的に再構造化を行いながら適切なスペースの維持に努めていきます。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 5 | 0 | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 4 | 1 | 段差等が出来ないように配慮しています。必要のない物を訓練室等児童がいる場所には置かない様にしている。 | 手すりなどは必要に応じて検討していきたい。利用者の特性に合わせたバリアフリー化にしていきたい。定期的に転倒時の衝撃吸収マット等の点検を行い、利用者の安全に努めていきたい。 |
| 業務 改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 5 | 0 | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 5 | 0 | | 保護者の意向を把握し業務改善に繋げていきます。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 5 | 0 | ホームページにて公開しています。 | 前回は書面での公開でしたが、今回からはホームページでの公開となりました。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 0 | 5 | | 第三者による外部評価や評価結果による業務改善の実施に向けて検討課題としていきます。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 5 | 0 | 社内研修を定期的に行っています。また全事業所合同の研修も行なっており資質の向上を目指しています。 | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 5 | 0 | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | 0 | | 標準化されたアセスメントツールがあり使用していましたが、今年は全職員で話し合いを行いアセスメントの内容変更等を行いました。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 5 | 0 | 職員同士で活動プログラムの計画を行っています。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--------------|----|---|----|-----|--|---|
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 5 | 0 | 利用者同士が協力できる活動や身体を動かすことができる活動、手先を動かす活動や季節を取り入れた活動等、職員同士で話し合いを行い固定化しない様工夫をしています。 | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 5 | 0 | | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 5 | 0 | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 5 | 0 | 支援前は活動内容の確認や注意事項の周知などの共有を行っている。 | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 5 | 0 | 支援後には職員間で支援の振り返りを行っている。 | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 5 | | | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 5 | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている | 5 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 5 | 0 | | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 5 | 0 | 必要であれば保護者へ許可を頂いて学校との連携を行っています。 | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | 5 | | 今後必要な利用者の受け入れがあれば連絡体制を整えていきたい。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 2 | 3 | | 必要に応じて行っているが、利用者全員とは至っていない。保護者と確認を取りながら必要な場合は情報共有を行っていきたい。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | | 5 | | 障がい福祉サービス事業所へ移行した利用者がいまありませんでしたが、今後必要があれば保護者に確認を取り必要な場合には情報提供を行ってきたい。 |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------|--------|----|-----|---|--|
| 運携 | 25 | | 5 | | 今後の課題としていきます。 |
| | 26 | | 5 | 計画はしていましたが、感染症流行が続いているので実現が出来なかった。 | 障がいのない子供との活動する機会は設けられていないが、他デイサービスの子供たちとの合同活動を行いました。今後は障がいのない子供と関わりができる機会を設けていきたい。 |
| | 27 | | 5 | | 今後の課題としていきます。 |
| | 28 | 5 | | 送迎時や連絡帳等で子供たちの状況を伝えるようにしています。送迎時には時間が限られているので必要があれば電話にて伝えるようにしています。 | 保護者の方が安心して通わせていただけるよう引き続き共通理解に努めていきたい。 |
| | 29 | 4 | 1 | | 全職員が行えるよう勉強会などの課題としてスキルアップに努めていきたい。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 5 | 0 | | |
| | 31 | 5 | 0 | | |
| | 32 | 5 | 0 | | 子どもたちの様子が見学出来、保護者同士の関わりが持てるようにと保護者会を開催しました。引き続き定期的に行ってきたい。 |
| | 33 | 5 | 0 | | |
| | 34 | 5 | 0 | | |
| | 35 | 5 | 0 | | |
| | 36 | 5 | 0 | | |
| 37 | | 5 | | 今後計画を立てていきたい。 | |
| 非常 | 38 | 5 | 0 | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-----------------------|----|--|----|-----|--|--|
| 時 等 の 対 応 | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 5 | 0 | 年3回の避難訓練を行い、そのスケジュール等はホームページの通信にてお知らせをしています。 | 年2回の避難訓練と年1回の不審者対応訓練を行っています。様々な災害の状況を踏まえた避難訓練をしています。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 5 | 0 | 年2回の社内研修を開催しています。 | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 5 | 0 | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 3 | 2 | アレルギーの有無は契約前や契約時に何うようにしています。 | 今後食物アレルギーの利用者があれば医師の指示書により対応を考えていきます。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 5 | 0 | | |